

令和3年度 春日部市立飯沼中学校 第40回入学式 式辞

校長 田村 嘉則

桜の花が散り、新緑が鮮やかに光りを放ち始めた春の佳き日に、春日部市立飯沼中学校第40回入学式を無事に挙げてまいりましたことに、本校職員を代表してお礼を申し上げます。

129名の新入生諸君、そして保護者の皆様、本日は中学校へのご入学、誠におめでとうございます。保護者の皆様には、今日から大切なお子様を責任をもってお預かりすることをお約束いたします。私は、お子様の中学校への入学は、第2の誕生と考えております。中学校の3年間は、身体も心も大きく成長し、揺れ動く時期であり、3年後に子供がそれぞれの人生の第一歩を歩みだすための準備の始まりとなる記念すべき日なのです。子供のより良き成長を支えるためには、保護者と学校が同じ方向を向き、同じ方向で力を合わせる必要があります。本校の教職員は、本気で生徒と向き合っていく所存です。ぜひ、積極的に学校の諸活動にご協力、ご参加をお願いします。また、公立学校の強みは、地域を持つことだと考えます。地域の皆様には、これまで同様、学習面でお力をお貸しいただきたいと存じます。また、生徒が社会に出るための経験の場としてもお力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。さらに、学校では生徒を積極的に地域に送り出します。御高齢の地域住民の方々に元気を届けます。万一の災害時には、中学生に力仕事を担わせます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新入生の生徒諸君、今日から飯沼中学校の生徒となります。そこで2つ話をします。1つ目です。本校の学校教育目標は、みなさんの右前方の壁に掲げられている校歌にも謳われています、自主実行です。これは本校のすべての生徒が、自分で考え、判断し、行動できる生徒になることを目指しているということです。保護者や先生方に言われなくても、時間を意識して行動したり、自分から気持ちの良いあいさつをしたり、そして何より、自ら進んで学ぶことのできる人になってほしいという願いがあるのです。学ぶことに終わりはありません。本当の学びは、最後の学校を卒業してから始まるのです。その時になって、何を学ぶべきか、どうやって学んだらよいか分からない人間は、そこで人としての成長が止まってしまいます。私達はより良く生きるために一生辞書を引くのです。それは、決して誰かにやらされるものではなく、自ら進んで学ぶのです。そのための土台を作るのが、義務教育の9年間なのです。やらされて勉強をしているうちは、生きてはたらく学力は決して身に付きま

せん。やらされる勉強を3時間するより、自ら進んで1時間の勉強を下さい。

2つ目です。君達は、世界にたった一人しかいない、かけがえのない存在だということです。そのかけがえのない命を、存在を、保護者の皆様が大切に大切にこの12年間育ててくださったのです。その大切な命や存在をお互いに大切に下さい。暴力をふるったり、心ない悪口を言って相手の心を傷つけたり、SNSでトラブルを起こしたり…、その被害者にあなたがもしなったら、どんなに苦しい思いをするか、そしてあなたを愛してくれているご家庭の方々はどんな気持ちになるかを考えてみてください。自分が認められ、大切にされたいのならば、同時に相手を認め、大切にすることを忘れてはならない。

最後に自分の力では解決できないことに出会ったときは、遠慮はいりません。決して一人で抱え込まずに、友達や先生に、また相談員に相談してください。飯沼中学校で過ごす3年間は、運動でかく汗はもちろん、頭や心の汗もたくさんかきます。その1つ1つの出来事がすべて、君たち一人一人、かけがえのない存在に光を与える源になるのです。さあ、新入生諸君、飯沼中学校で思い切り汗をかこう。この学び舎で、いま私がはじまるのです。

令和3年4月8日 春日部市立飯沼中学校長